

口蹄疫の発生予防対策の徹底を！ ～中国で新たに口蹄疫が発生～

中国では、昨年9月にはチベット自治区で、11月には遼寧省大連市で、12月には江蘇省で、そして今年1月には四川省広元市で口蹄疫(O型)の発生が確認されるなど、発生が継続しており、中国国内において口蹄疫ウイルスが広くまん延していると考えられます。

これから春節を迎え、中国における人や物の動きが活発になると、我が国へのウイルスの侵入の危険性が高まると考えられます。

「発生の予防」のために、空港や海港における輸入検疫の強化が行われているところですが、何よりも畜産農家の方々に日頃から適切に飼養衛生管理をしていただくことが大切です。

「発生の予防」は、地域ぐるみでの対応がより有効です。関係者が連携して飼養衛生管理基準の遵守に取り組んでいただくよう、お願いいたします！

- ・ 飼養家畜の健康観察、異常の早期発見、早期通報
- ・ 野生動物などの畜舎への侵入防止
- ・ 農場、畜舎の出入口での消毒の徹底
- ・ 関係者以外の農場への立入制限
- ・ 発生国への渡航の自粛
- ・ 入退場する人や車両についての記録と消毒の徹底

異状に気づいたら、すぐに家畜保健衛生所に連絡してください。

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo-koyo/nogyo/kachikueisei/hidakaho/>



【中国地図】

前々回の発生：遼寧省大連市
(2012年11月19日発生、O型)

今回の発生：四川省広元市
(2013年1月4日発生、O型)

今回の口蹄疫の発生の概要

- ・発生数 : 1件
- ・動物種 : 豚
- ・血清型 : O型
- ・飼育頭数 : 124頭
- ・症例数 : 30頭
- ・死亡数 : 0頭
- ・淘汰数 : 124頭

前回の発生：江蘇省常州市
(2012年12月12日発生、O型)

発生国への渡航は自粛してください。!

※やむをえず渡航する場合には、

- ・農場やと畜場などの畜産関連施設には立ち入らないこと。
- ・肉製品などを日本に持ち帰らないこと。
- ・帰国の際には、到着した空海港の動物検疫所カウンターに立ち寄り、家畜防疫官の指導を受けること。

※帰国後は、

- ・帰国後一週間、農場などの衛生管理区域に立ち入らないこと。
- ・海外で使用した衣服及び靴を衛生管理区域に持ち込まないこと。

検疫の強化について農林水産省の関連サイトで情報掲載されています。

○農林水産省ホームページ「空海港における水際検疫の強化について」

http://www.maff.go.jp/syouan/douei/quarantine_beefup.html

○動物検疫所ホームページ「家畜の伝染性疾病の侵入を防止するために～海外へ旅行される方へのお願い～」

<http://www.maff.go.jp/aqs/topix/mizugiwa.html>

